



俳撰如、落月あり多し
工案と先くく東初の家
寺名、橋、町、よからしむ
人偏ありし、里を東の
志なくたより、若くは句と
然る處と字あり、子成文

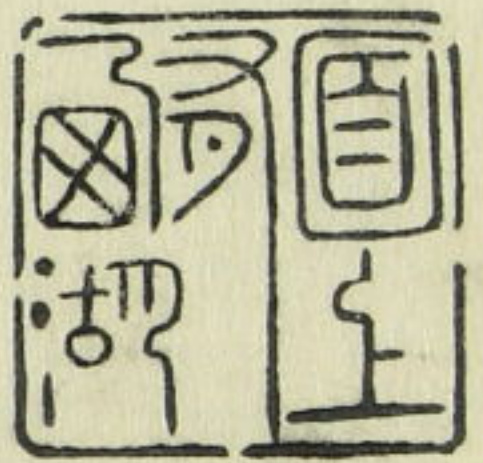


其玉ありて揚言月露
昔も多しと格見回
時の瘦弱掃胸人又
の世々ありて東を
節々不新有、おんとの
仇も子等々く整態

哀樂ある所何走つる其
運業とるあり
韋駟天如水老く老心
もや記述儼か 沾洲
露も中時中も多し
高々大節 成就の

子孫之孫之孫之孫之孫

五千叟述



序文書句

任座頓首

題夏始

空文上朝乃宿とすく念電もか

山夕

題温盤會

凍解や法ハ双樹に法雨

和推

題花見

暮乃心傳との下ノ是松も季

沾山

秋

多業 字此肩の如く也二梅菊

成屋

類後車条

約歌と槽ゆく花は秋葉の

貞山

條

村産り〜〜〜鳴子のと川と抜

水國

長

車引橋はかたはる異名うら

来川

春

常解や寺とわ〜〜〜流谷や

乾什

梅咲や橋〜〜〜ぬ乃門と遠心

百洲

長

嶋牛の道と体むら〜〜〜いん

壺月

春

揚花下と〜〜〜常仙

常仙

友

照花もく蓮の盛りに秋葉の

尾谷

又

魁神明布

秋の吹や〜〜〜

一漁

秋

多しののちや重なるれ散り雪

起波

夏

富士峰これいふとわかれ去来風

湖十

春

初丁や羽屋のよる鶴舟笑

逸志

又

野原草市

わさびのつる野原草市崩

貞佐

向ふ意情を感じ一縷小

風姿をたらしつる波の音

よる暮敷く八百八町片

度き小坐し一貫有海

て高の里憐れ無忘花比奈

そよそよ野不種ある草く

乃露月を御もせぬさ

玉の峰はききも思ふらんを
 七十老免山夕五午波の岸
 ふ縹如くくの中はた

東海楼の巻

江戸紫

翻鶴堂

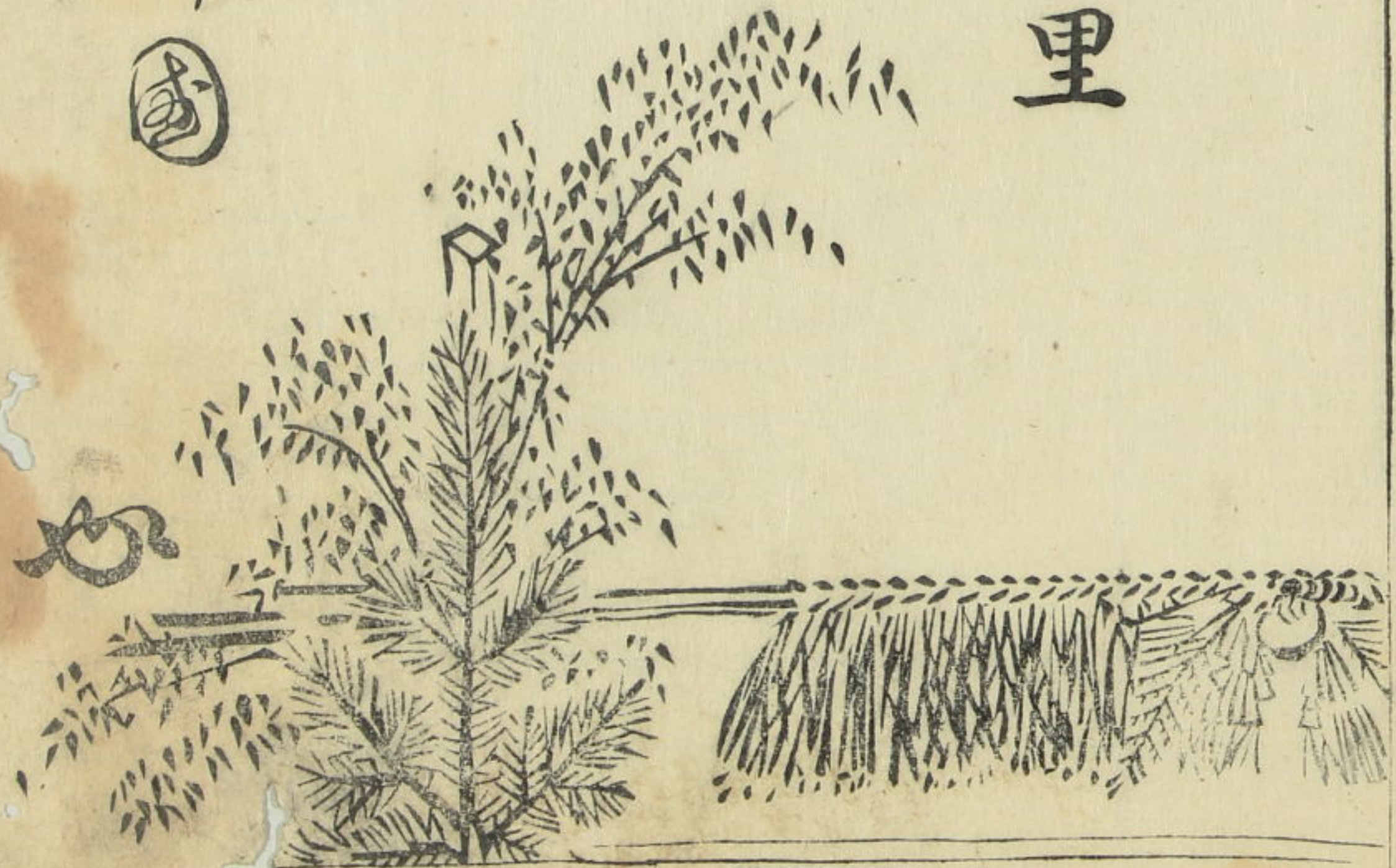
千里

元日也

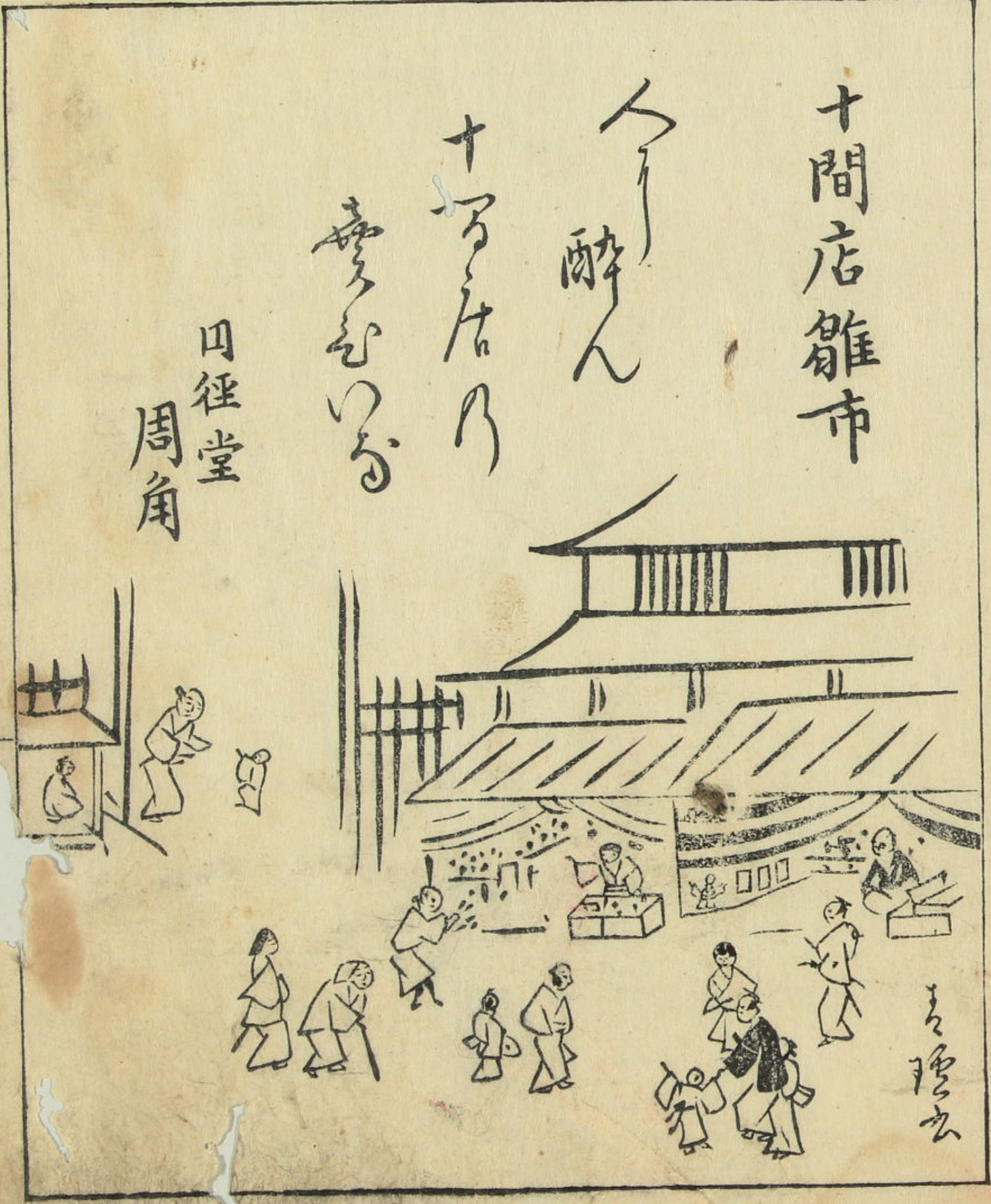
しうに

無緒

秋津園



如



十間店雛市

醉人

十間店

四徑堂
周角



千住川上は池

下の池よりつる乃
冠餅を小しうらねと
あつたりしや

冠餅

うらね

あつた

沾鷹

財城画

行轉

鹽瀬饅頭

船岡

小

服紗

蘭臺



北沖

葛西

海苔

蘭徑

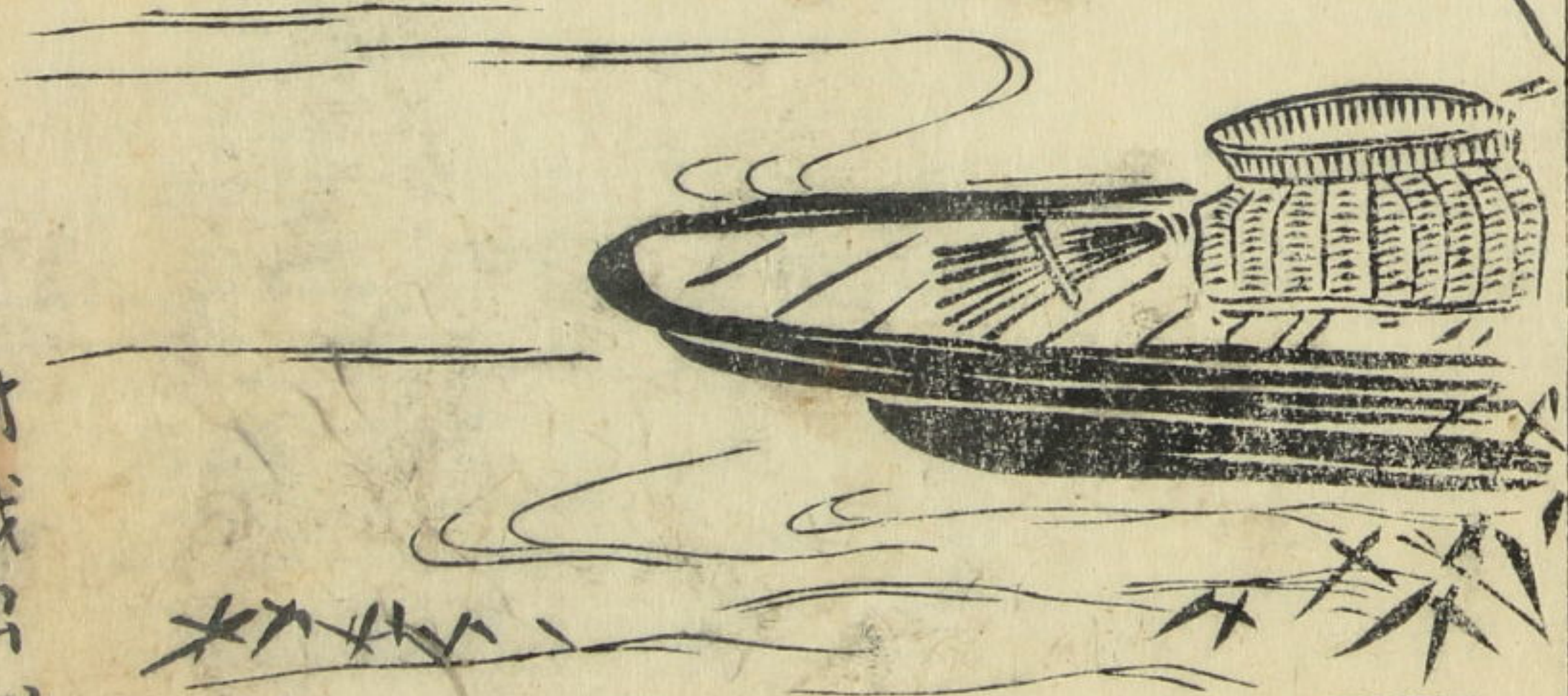
舟

舟

舟

舟

財城



薬田
綱引



音雪云

松屋綱引
麻子姑屋補

九日下
玉沾

亀戸藤

徳川
幕府

若菜

神子乃

寄河

荷水堂
泉柳



北冲

卧就梅

桃丑



白粵雪岑

金園の

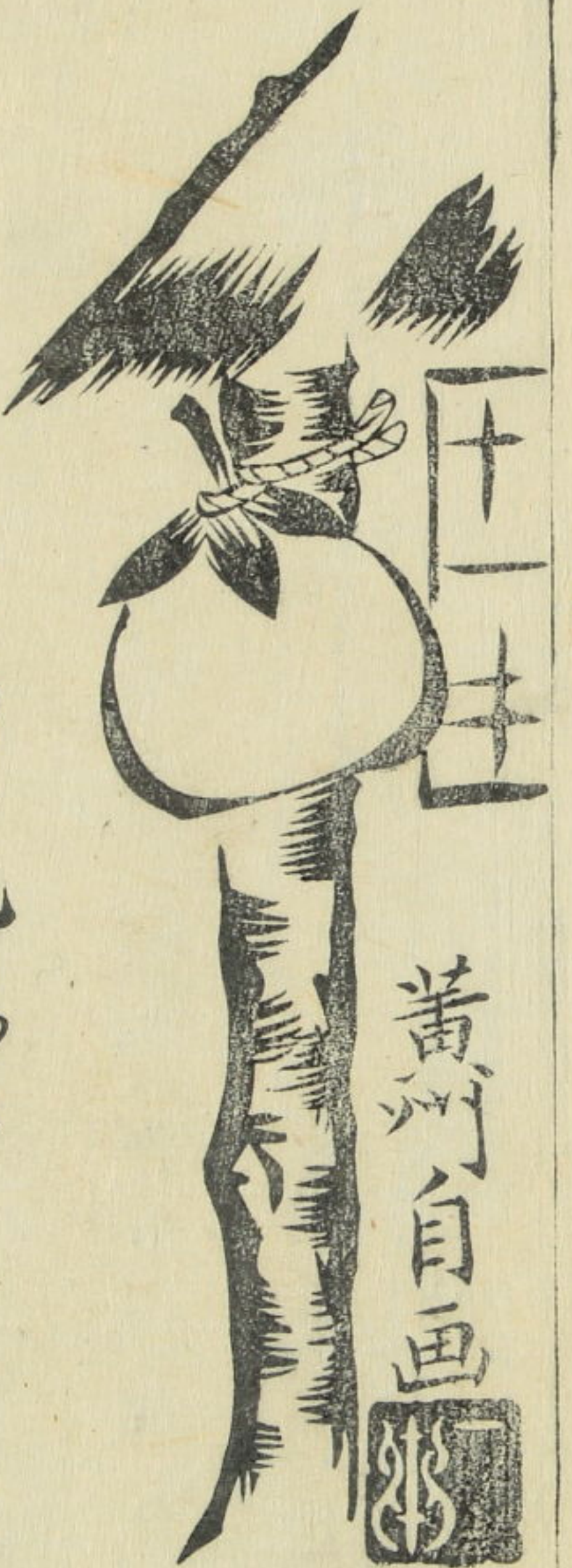
年

あ

あ

あ

屋



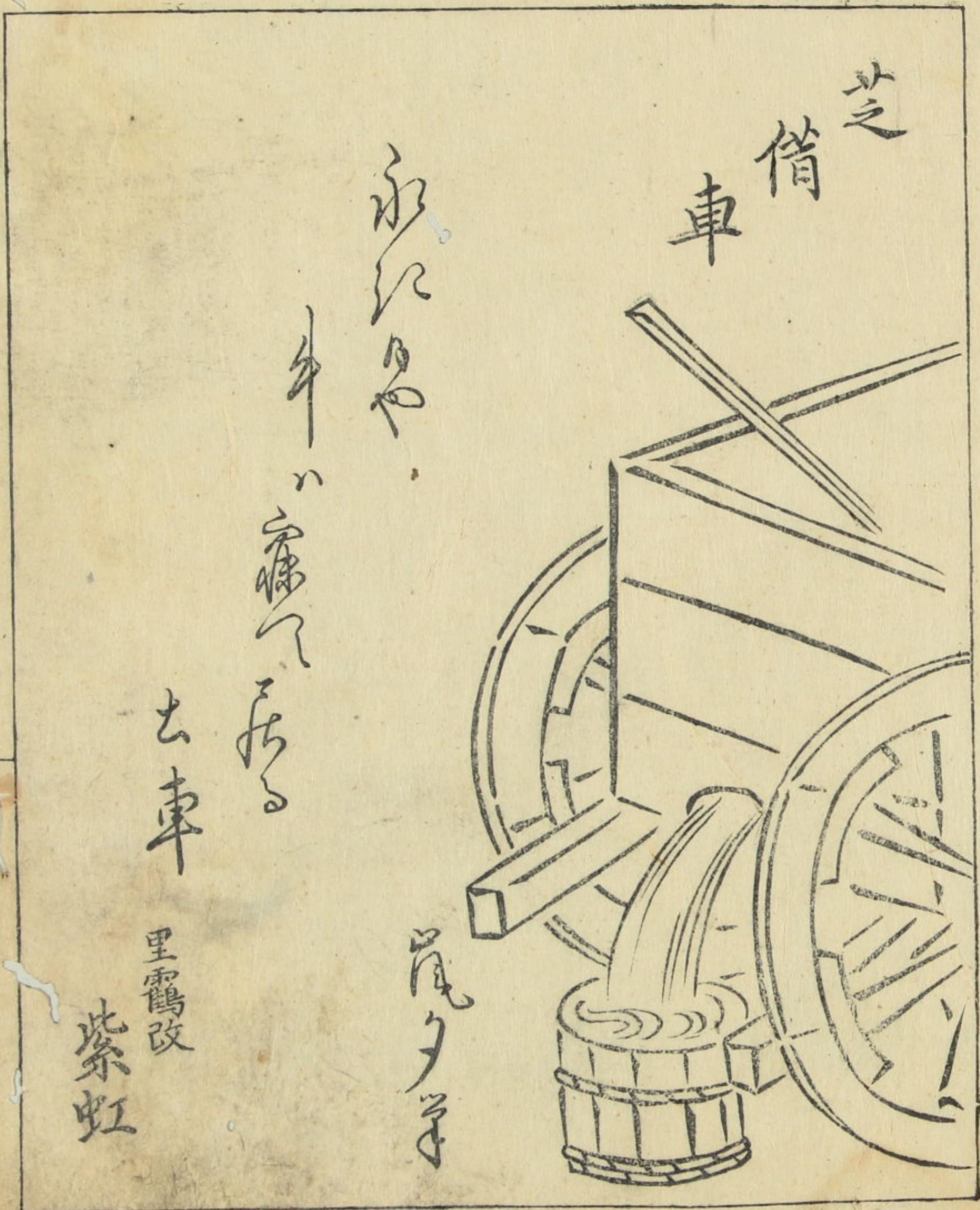
黃河自画



初化境

生

此
字
初
化
境



芝

借

車

水車

牛車

去車

里鶴改

紫虹

尾夕子



半節

車

や

より

能

石

菜

舞

舞

蛟

財

我

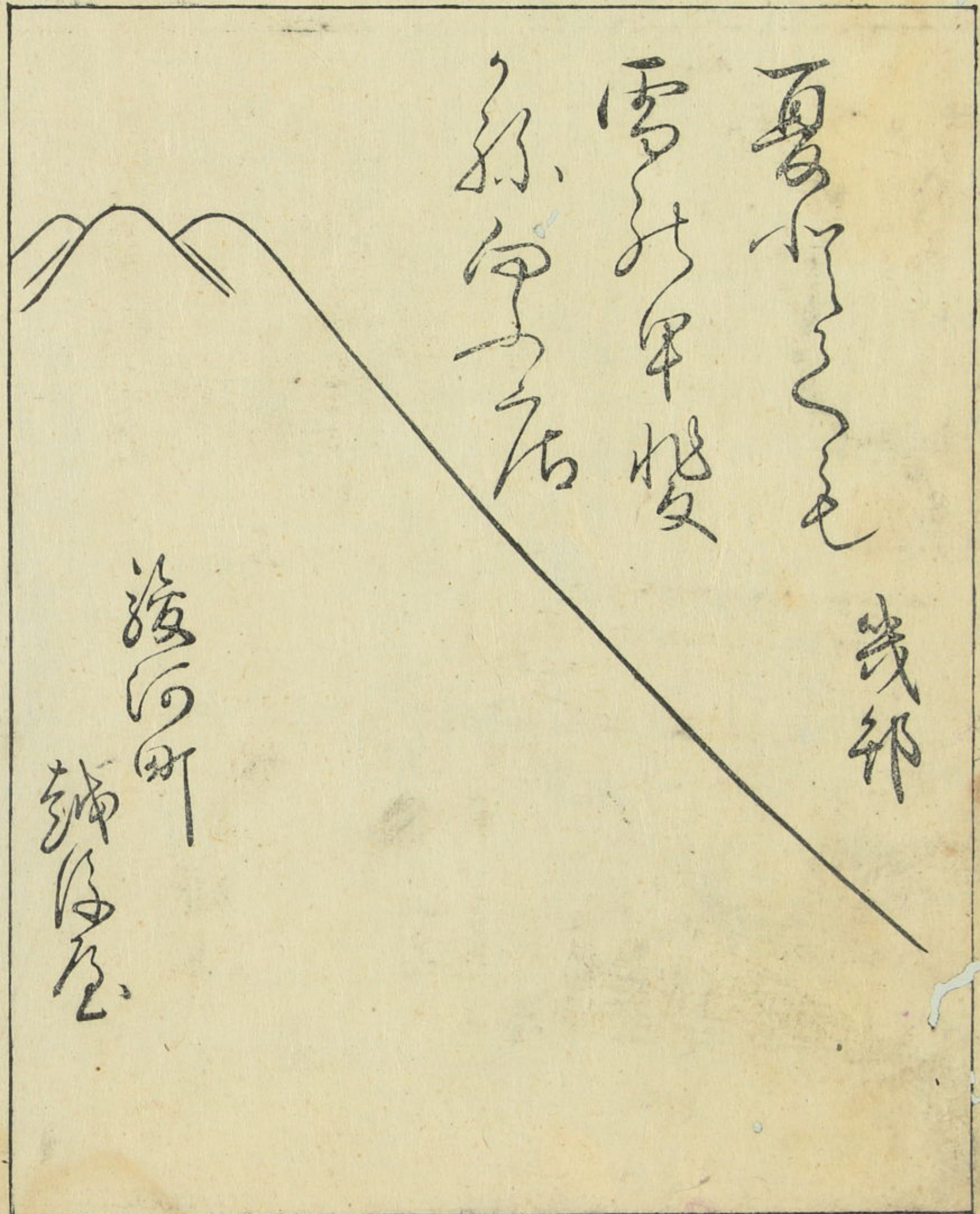
画

也



浅草柳屋枕他信子
 高之末々
 橋屋前之平

謙亭

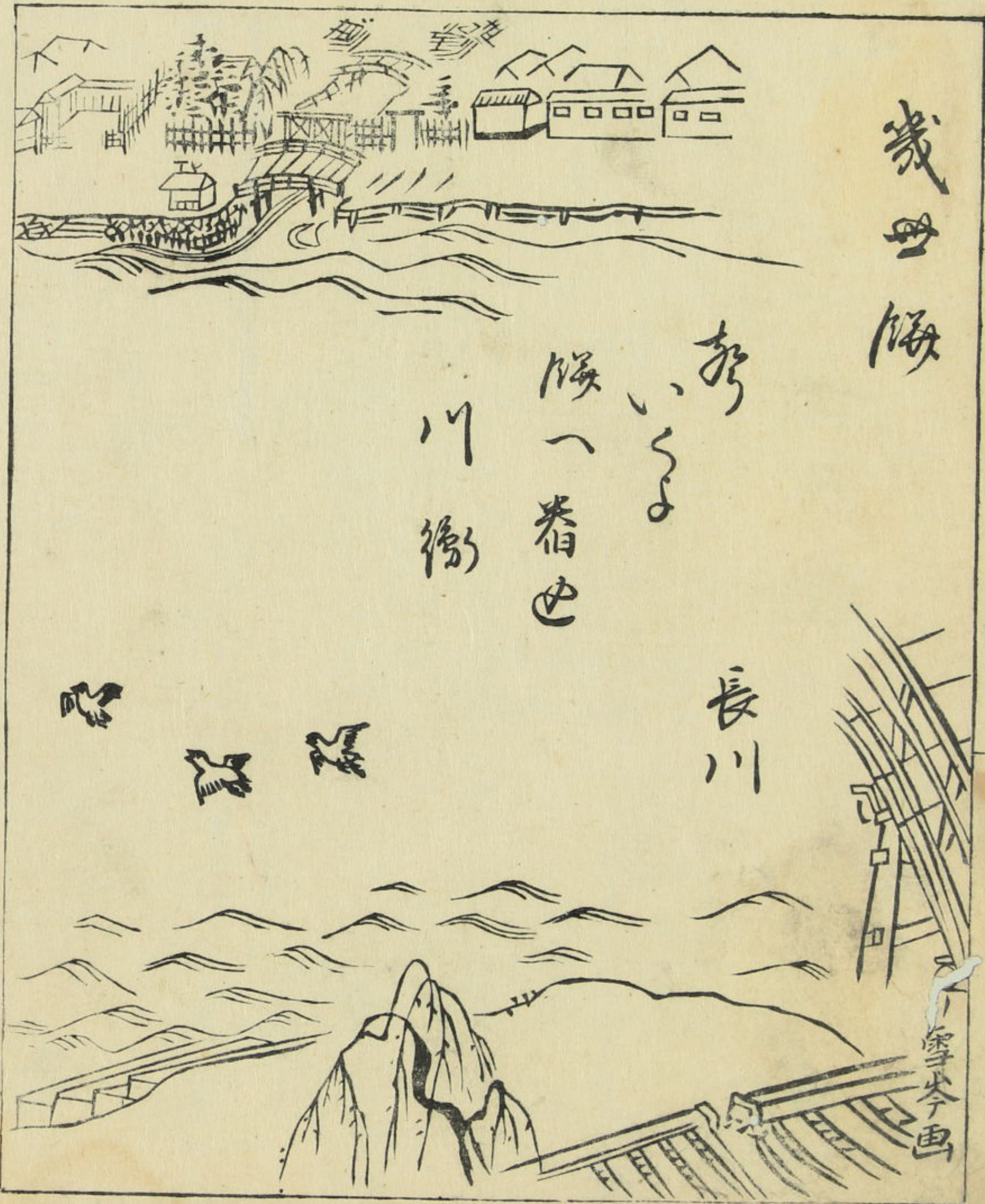


夏山
 雪舟半燈
 糸向子店

浅部

後河所
 鋪屋屋

幾世殿



新

い

川へ春也

川

長川

雪峯画

駒込富士麥藁蛇

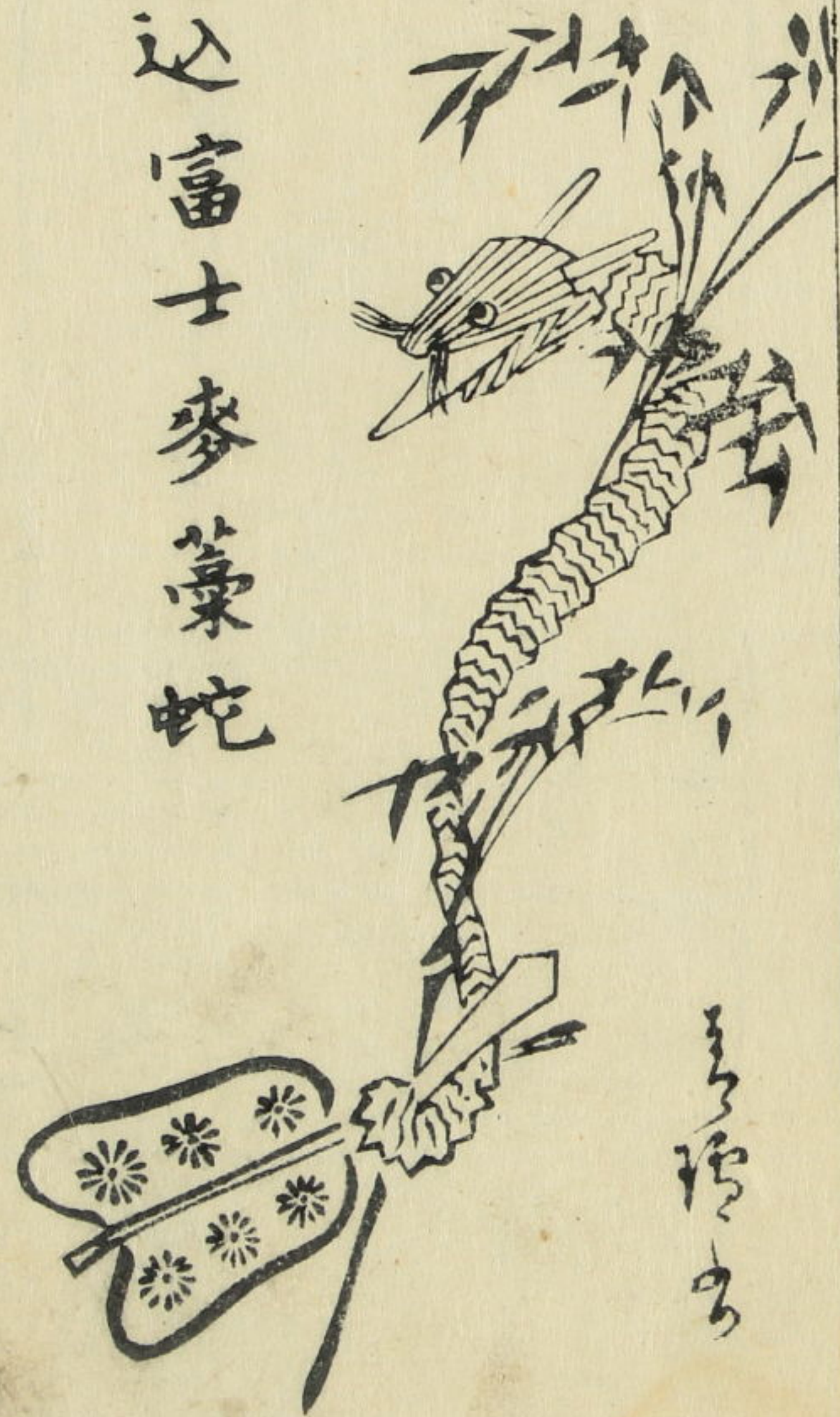
是之屋富士の

和光の

其産物

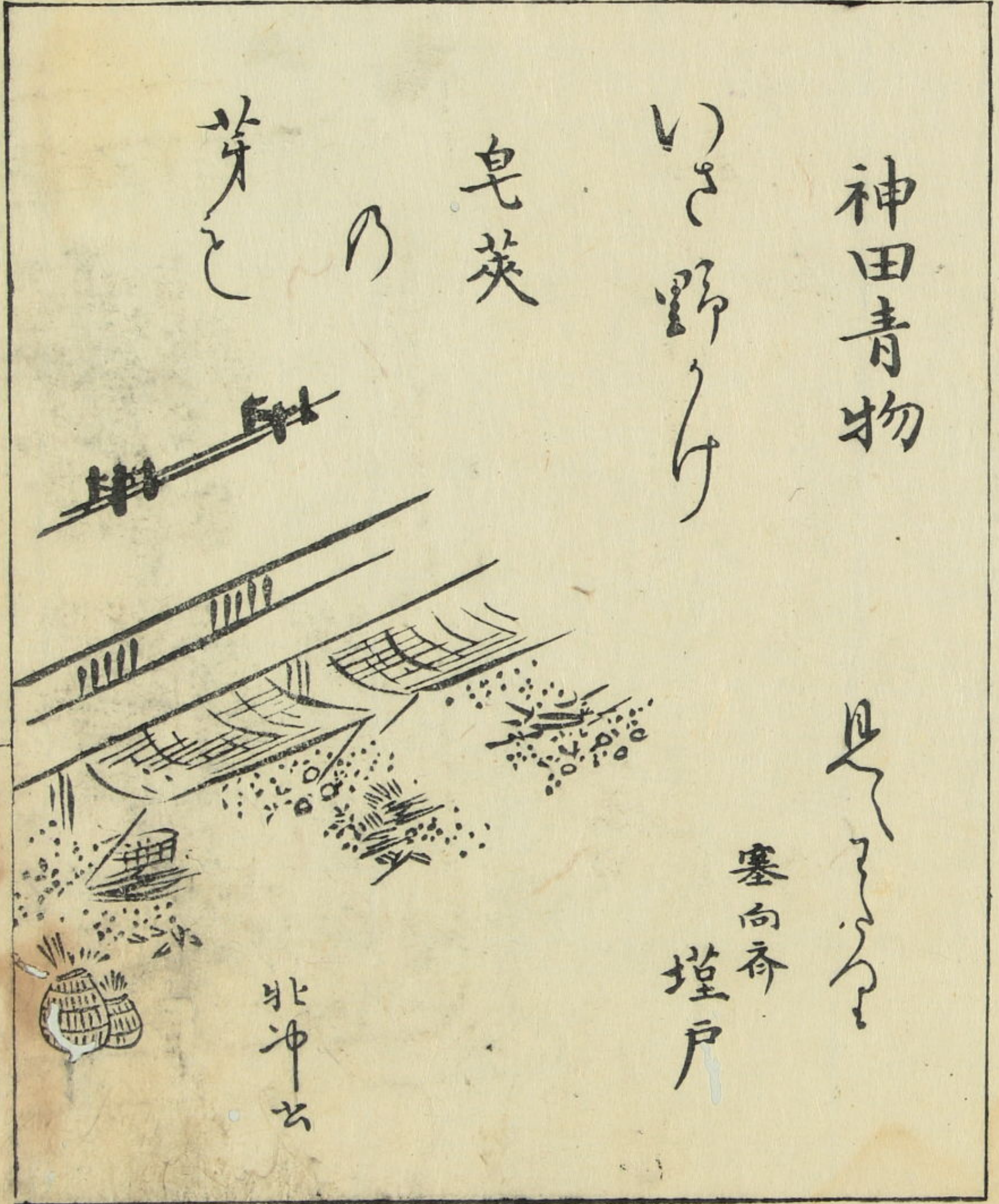
梅隣舎

界温



ま





神田青物

いさ野ヶ

皂莢

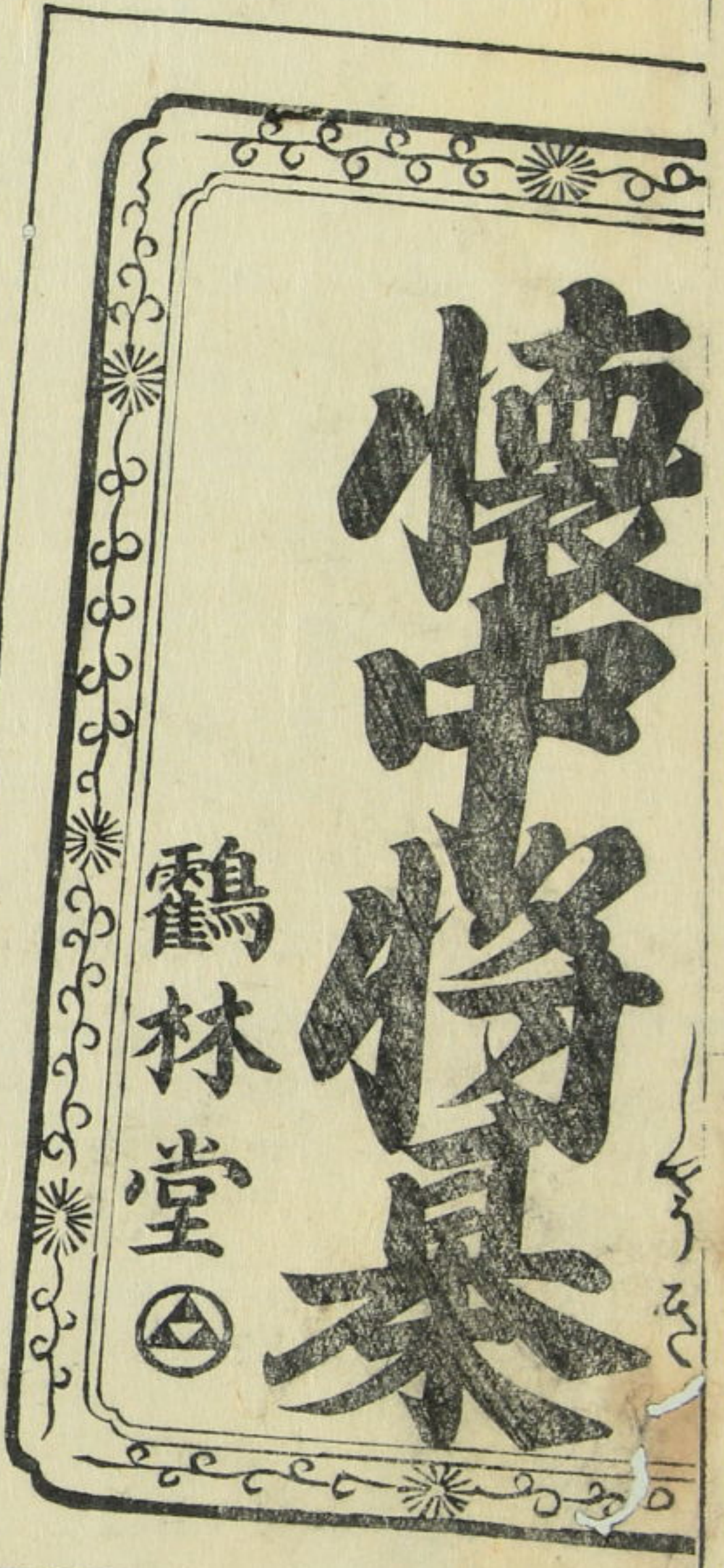
茅

是

塞向奇

塙戸

北冲云



懷中將暴

鶴林堂

内藤府

素水

仙

為

是

漆川勝三郎

水江

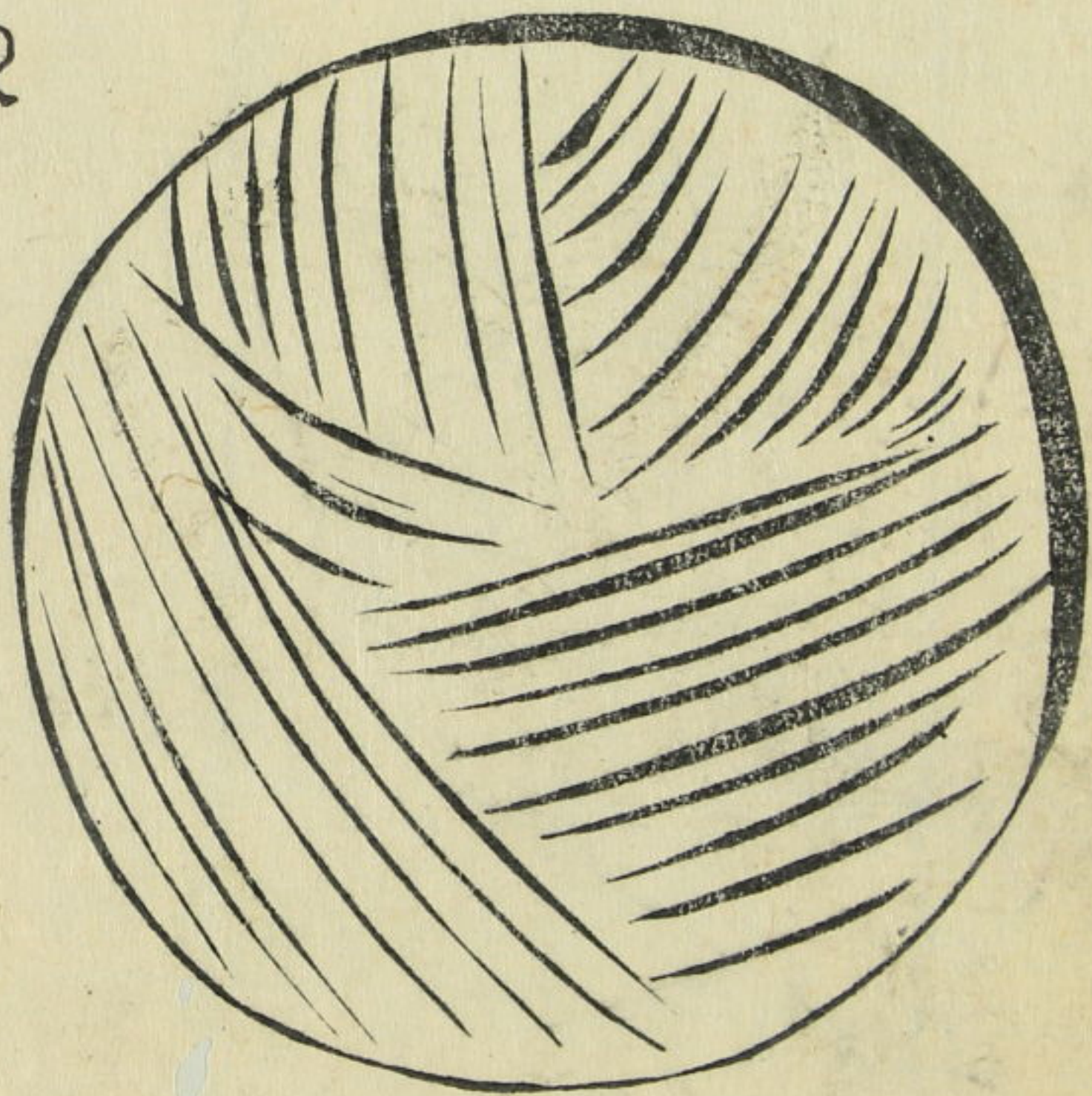
如

うき

深川

穂江

千株



式池画

大木傳中郎

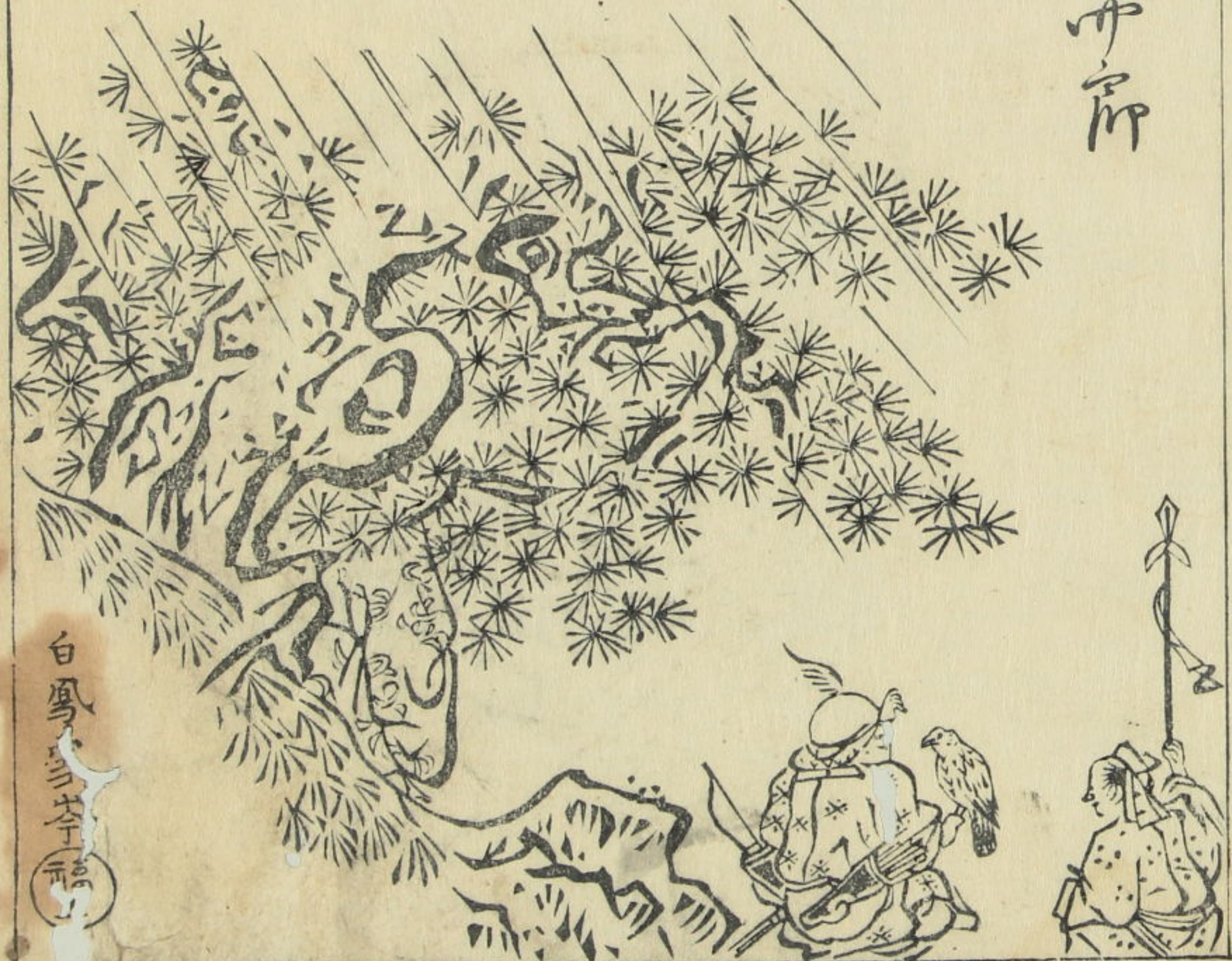
糸向や

大木結

うきの

一清

童山



白鳳堂



御花宿

雪峯筆

午寂

蚊を

蠅よ

虫の

屋

たの

御来迎賣



若舟下

誰と

や

素濃

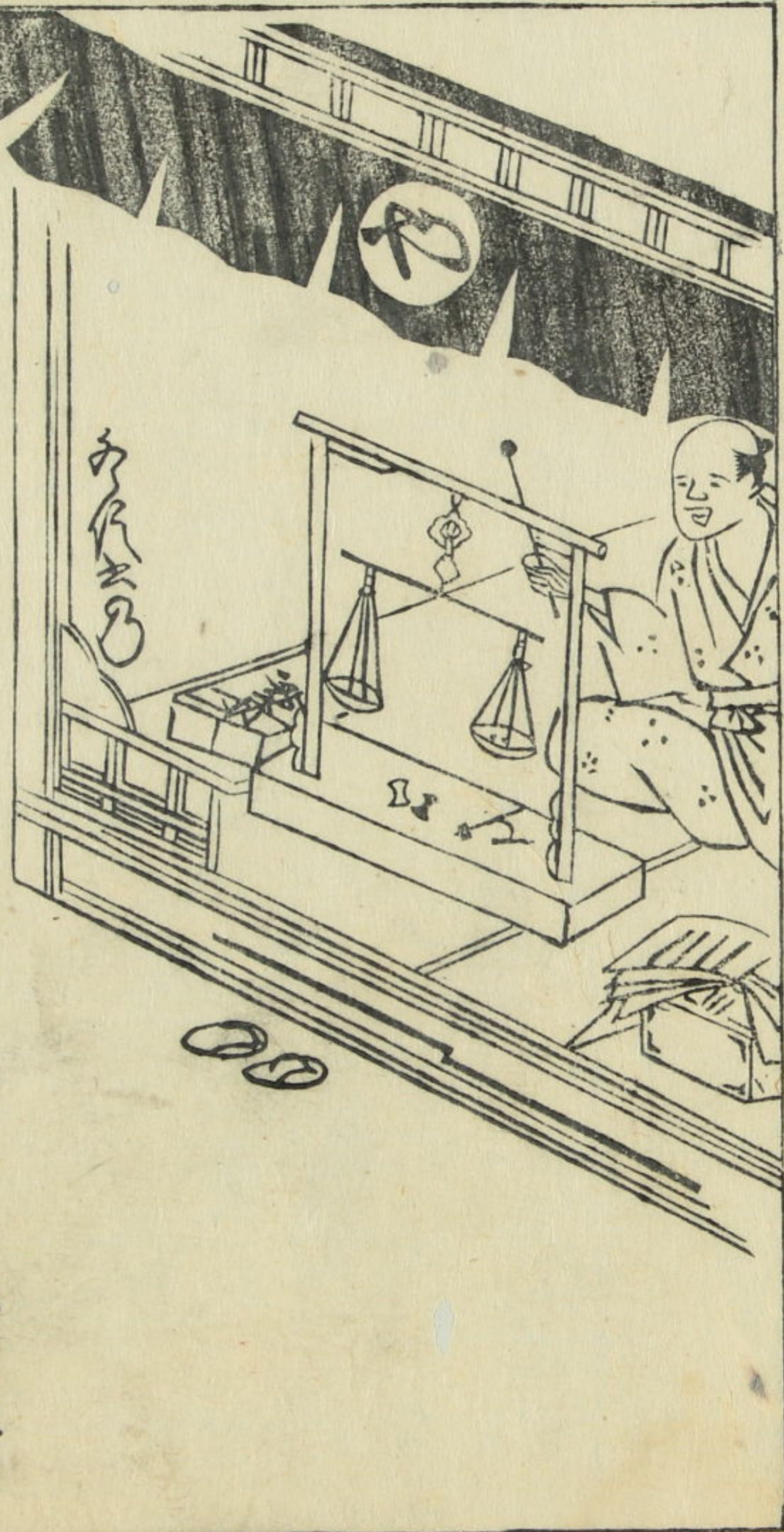
泉之画



針口乃喜々雲井の時鳥

兩替町金根

紫荷



後草



しん子

恭徳堂

初水

長江

心山

七虎





隅田川 蜆

梅巷居

泊城自画



浮鳥

見形

顔

切

松井源廣



日蓮

太刀の所謂

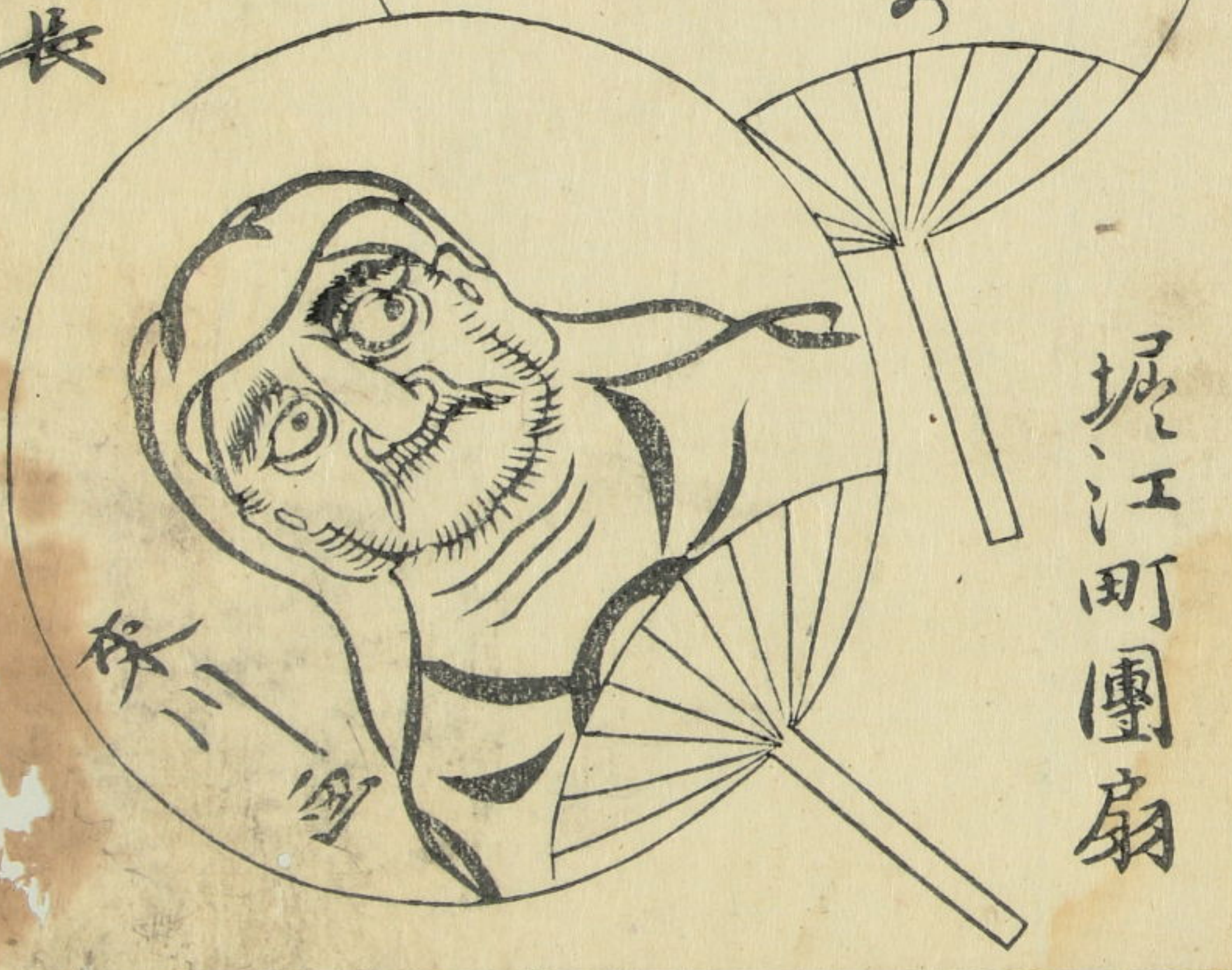
廣小路

松好客
三省

泉之画

嶺向舎泉長

團扇
丸
本乃系
様様也

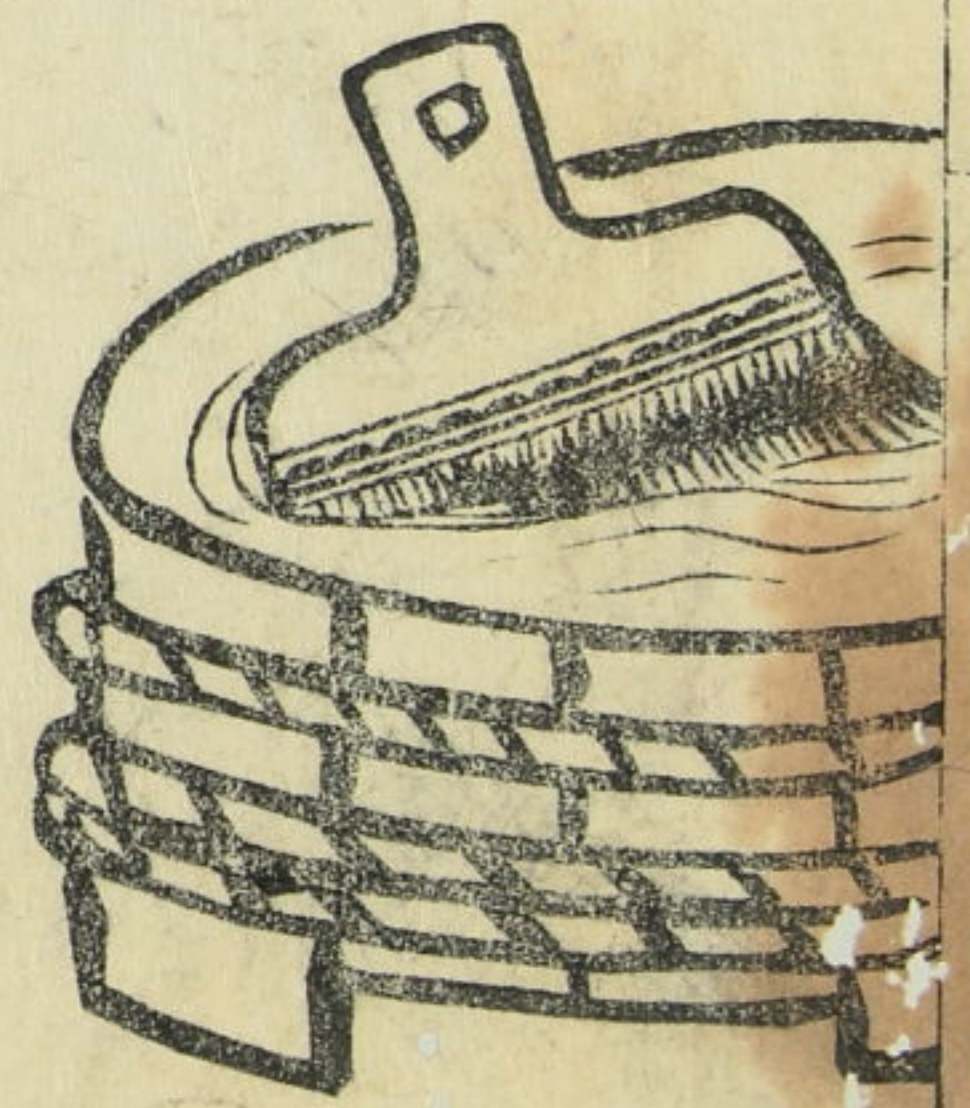


堀江町團扇

山石井河合扇

子
子
子

皆之流之川也



瓶可画

表合扇

凸舎

錦子

小田原市

いづれも香乃

市紙り香乃也

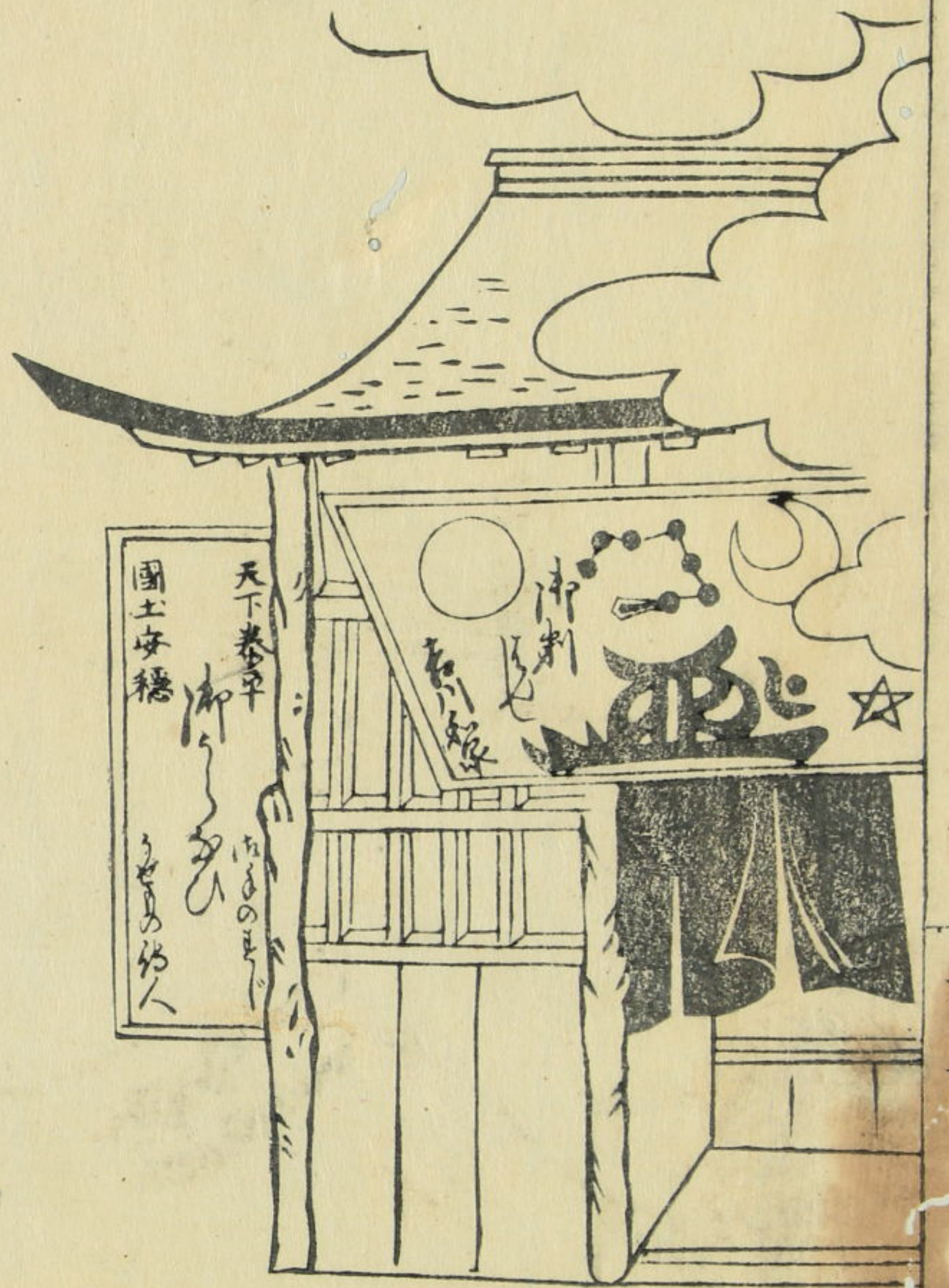
橋本家

每隻堂

諷可



自画



羊水屋也
いづれも香乃

曲樹堂
全枝

天下卷平
御
國土安穩
いづれも香乃

自画

簾下
の
内

紅毛

花
香
酒

酒

香
酒



侍野敬信筆



中羨若木以少人少武二州と愛一様と極く
獨のそ乃樂とあふるも又偏な〜とやあ〜
一莊りり夫を於木不あ於草と集あ自〜郭馳
多業茂り〜ゆ貫か〜ふ山山竹 老を忽林は
見は中〜に躰乃〜候礼を〜集は〜京都の朝日
増〜紅を平〜安を〜た〜えと歌を〜一〜ゆ〜ん
あ〜ら〜れ壯觀〜して花と〜小〜名〜山〜鳴〜老道詩や
新や酒〜茶〜人〜名〜流〜え〜は〜他〜乃〜目〜と〜候〜
せはる帳合〜を〜待〜候〜樂〜と〜す〜も〜の〜香〜酒〜
獨り愛す〜類〜小〜猪〜ん〜候〜と〜花〜さ〜り〜ハ〜誰〜

深井ノ信玄酒

寒驢

冷水

寄鴻や美守歌名〜州〜名帳名

橘町
躍子

おしる子
橘の紋乃
舎のしる
素夫



まはる

朱座

おしる子
おしる子
おしる子
了
御園
奥子



嵐夕画

草花の毒
 雨の
 かさねる
 心



水芝洞祇術



深一番思油
 卒風

冠髪香

根元其能多
 兵庫

起て見よ

そけものぬ

笹乃香

六月堂

為難

糸之画

高瀬の香や煮物

むらさき

山吹

湯や

高瀬

佳丁改
魚貫



高瀬

瀬戸物町乾物

奇持

なま

庵の

重なる



吟系

高瀬

阿蘭陀宿

お毛や

花笠亭

寿尺

福王厚衣筆

とりの

染と

子

長後尾



小網町白魚

一夫井

沾緑

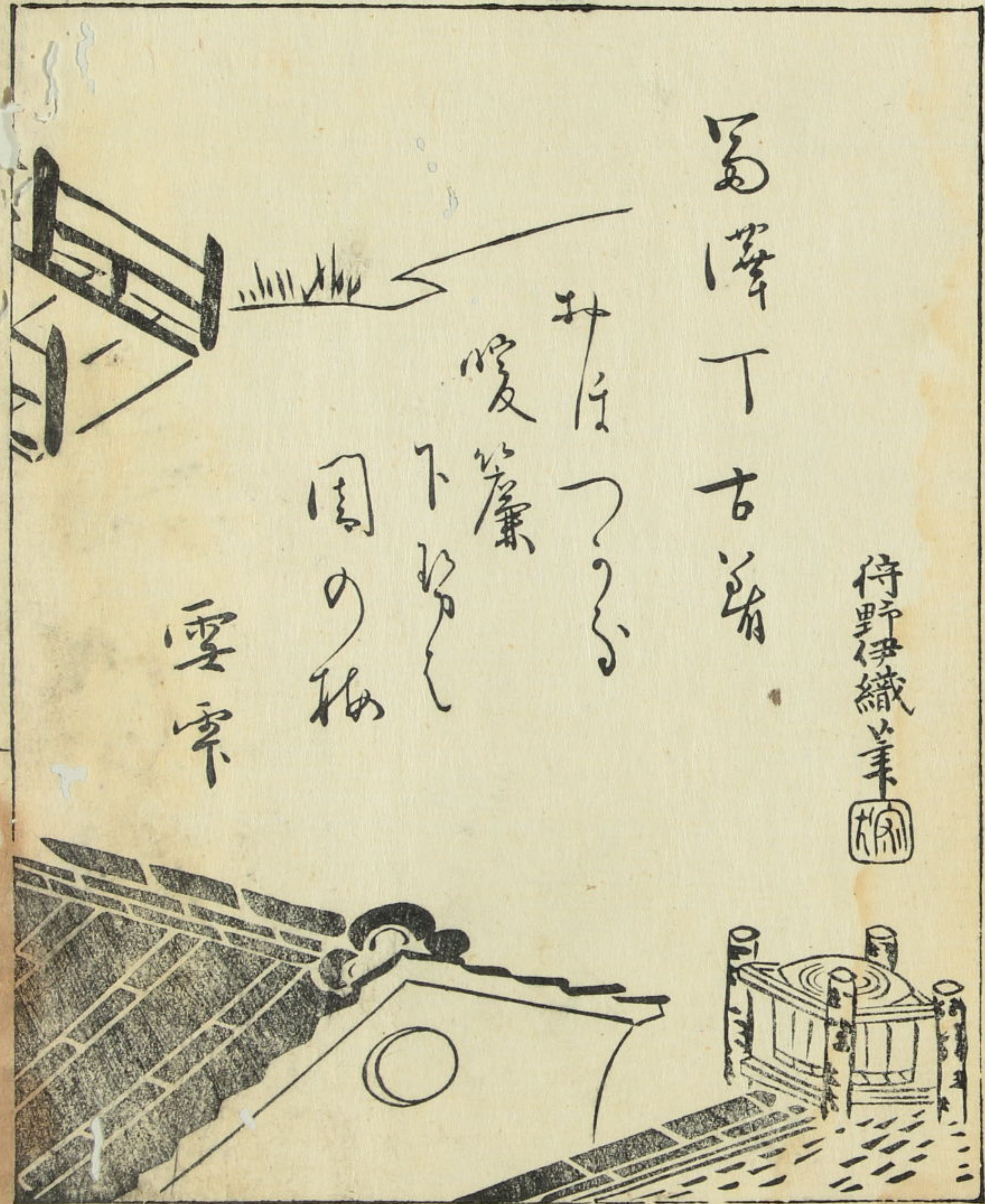
お魚

深川中

お

お





寫澤下古道

井戸つゝ

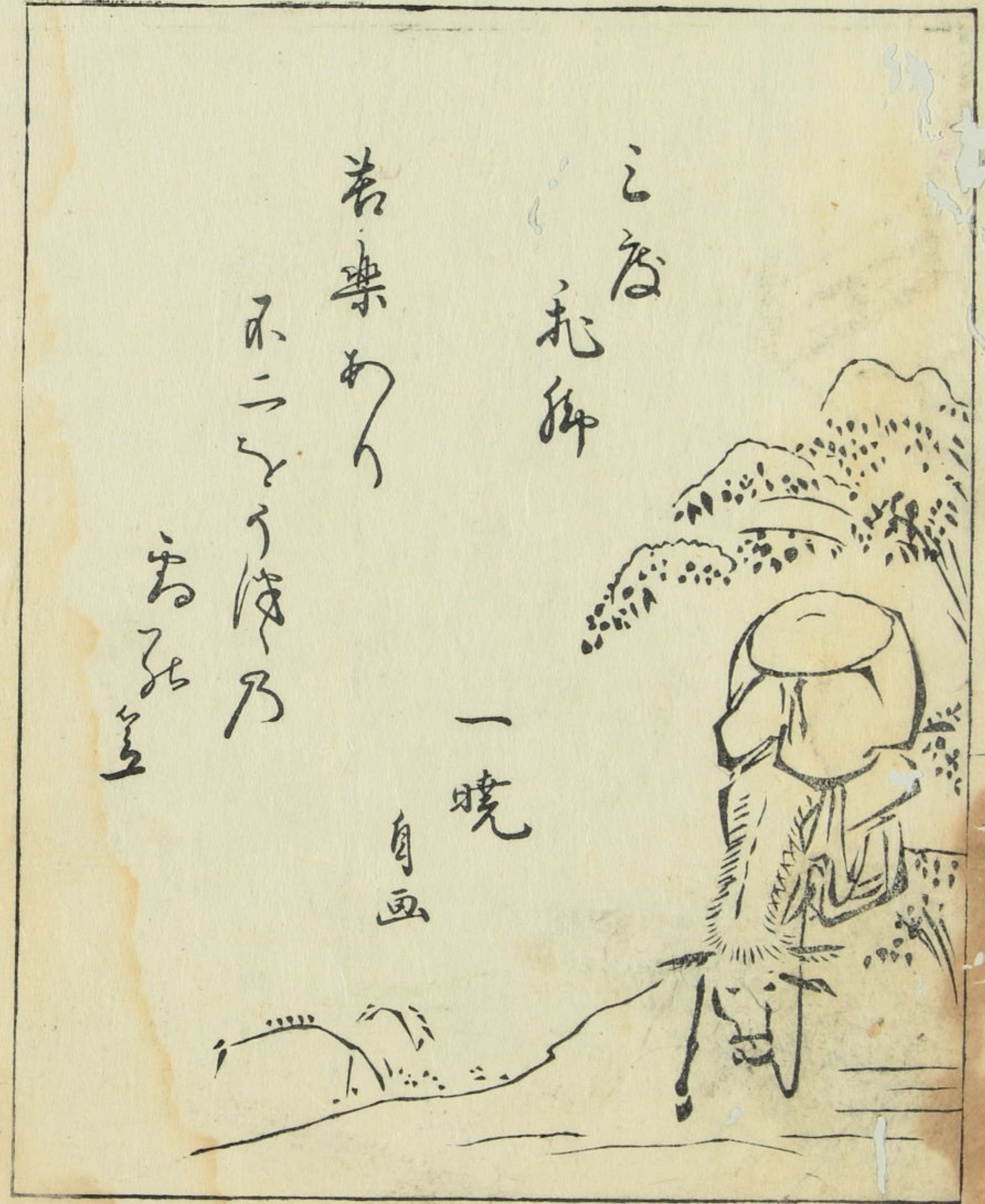
暖簾

下駄

園の梅

雲

侍野織業



之度
花柳

若樂あり

不二とくは乃

高石

一曉

自画

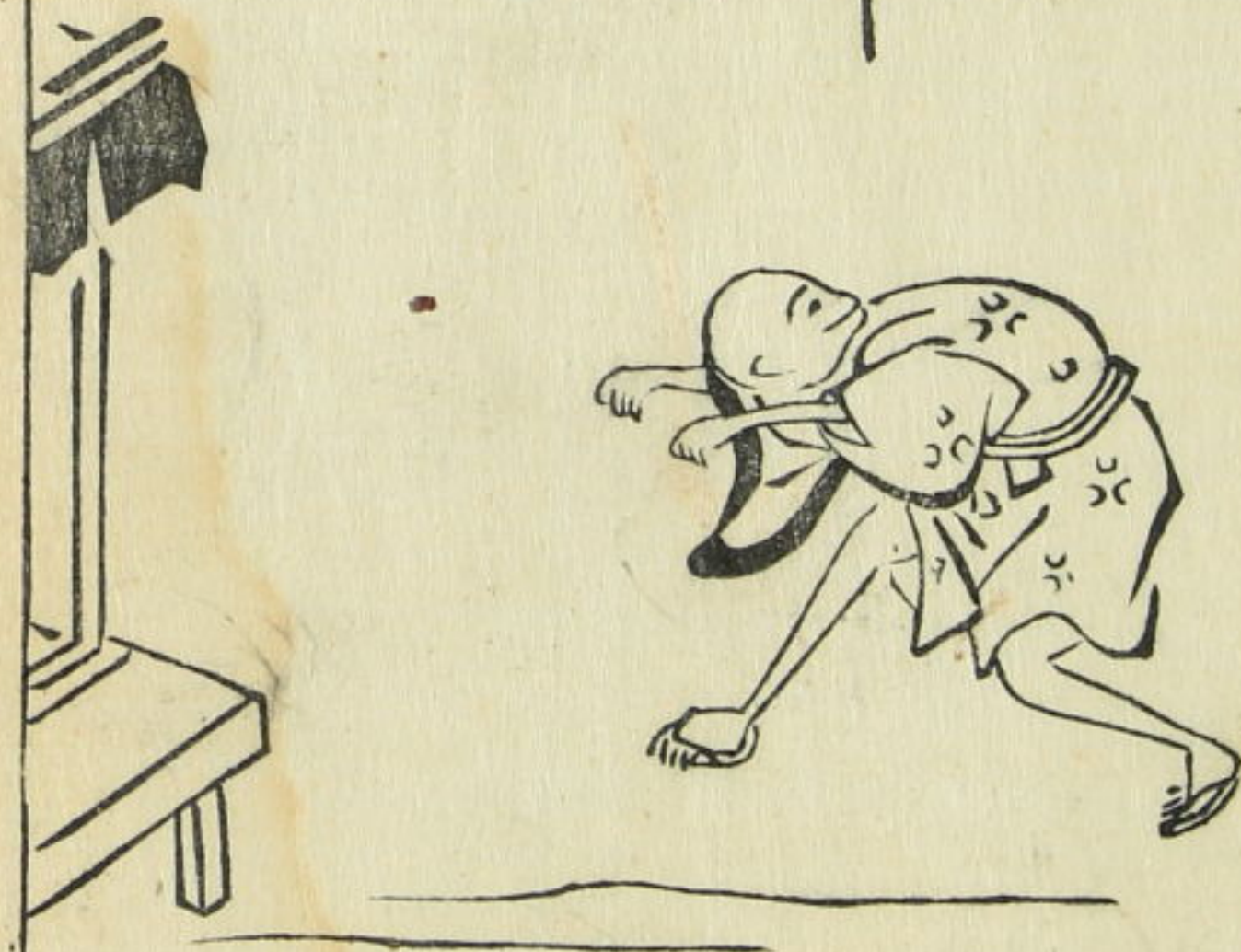
雜司谷蕎麥切 煮扇

信濃
中
能
松
極



靜堂画

素子
大
名人
衣乃
甲



秀雪画

中村幼之序

立圃

お丸

雛

おま

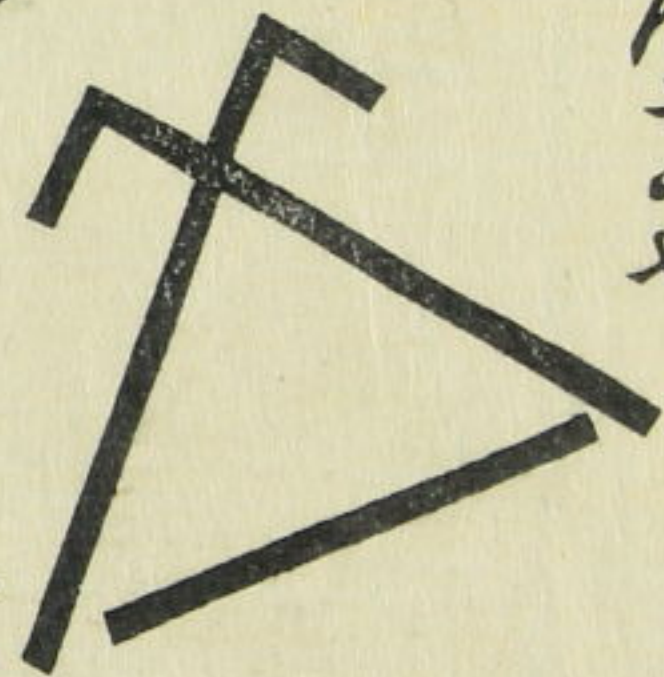
うま

音



去るはたより後のまじり

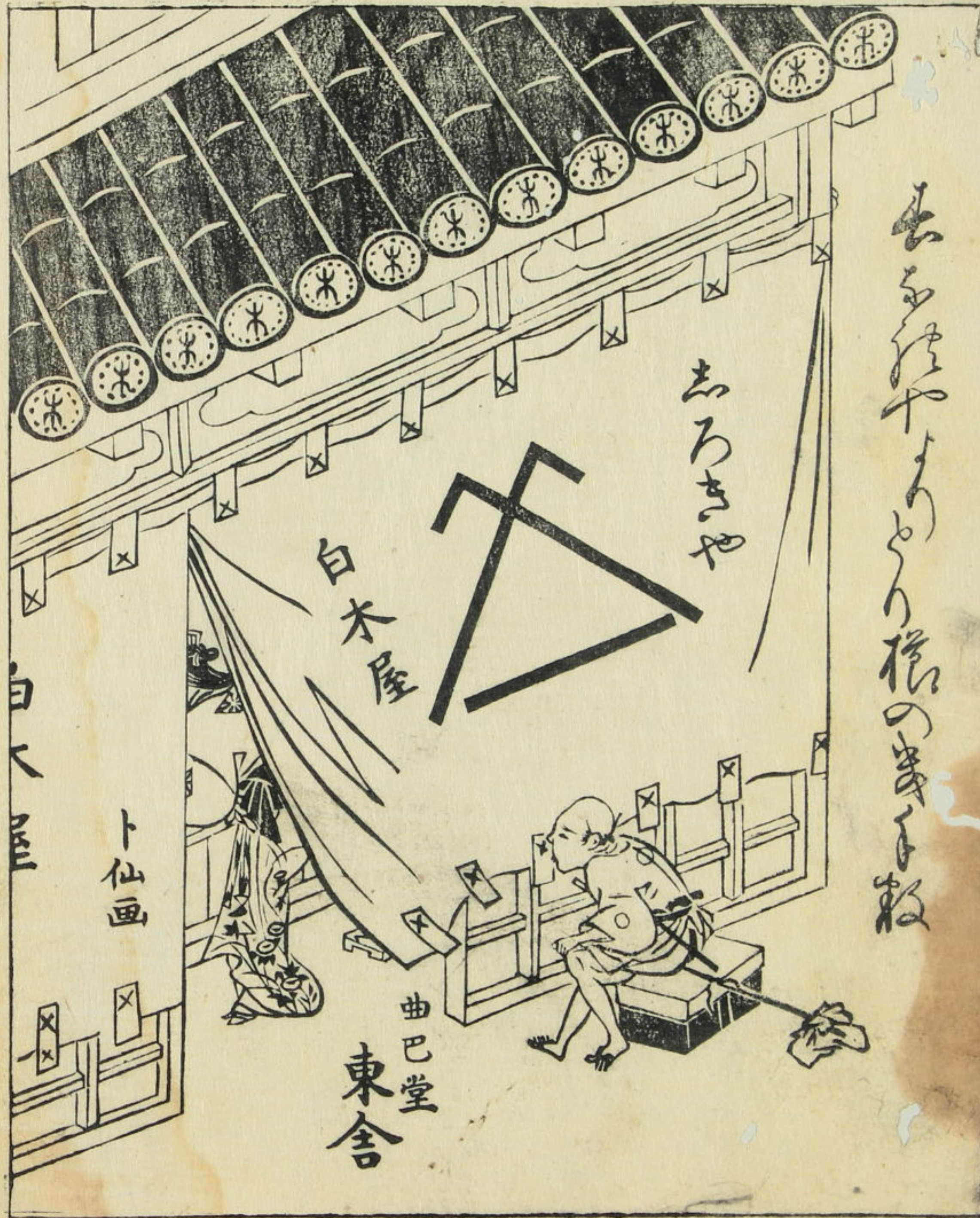
おま



白木障

卜仙画

曲巴堂
東舎




栗井光壽鞠
 其何
 花も
 香も
 あり
 神田端 丈岳圖



丈岳



海流
 七層ん
 橋本所頼人
 露調
 わかづの屋やをせむ八百傳り名



乃

大傳馬町太物

源

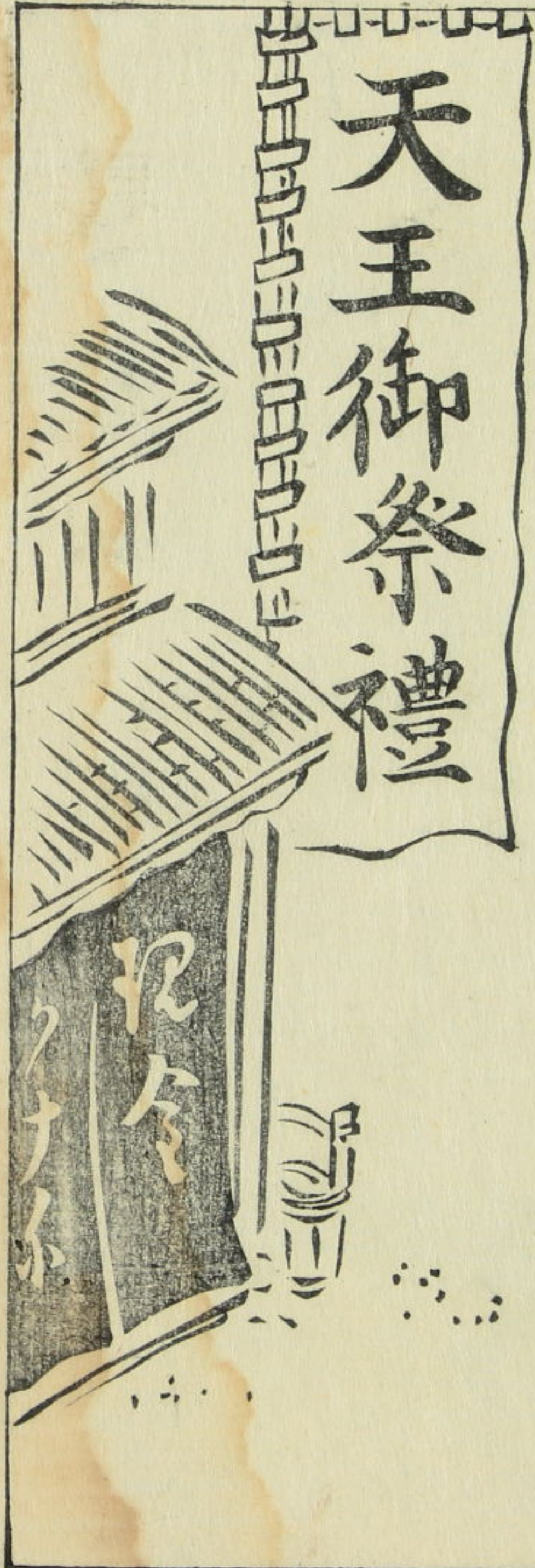
水墨舎

兎羊

男世間乃志屋

一池女

天王御祭禮



題 橋南居活洲

賊

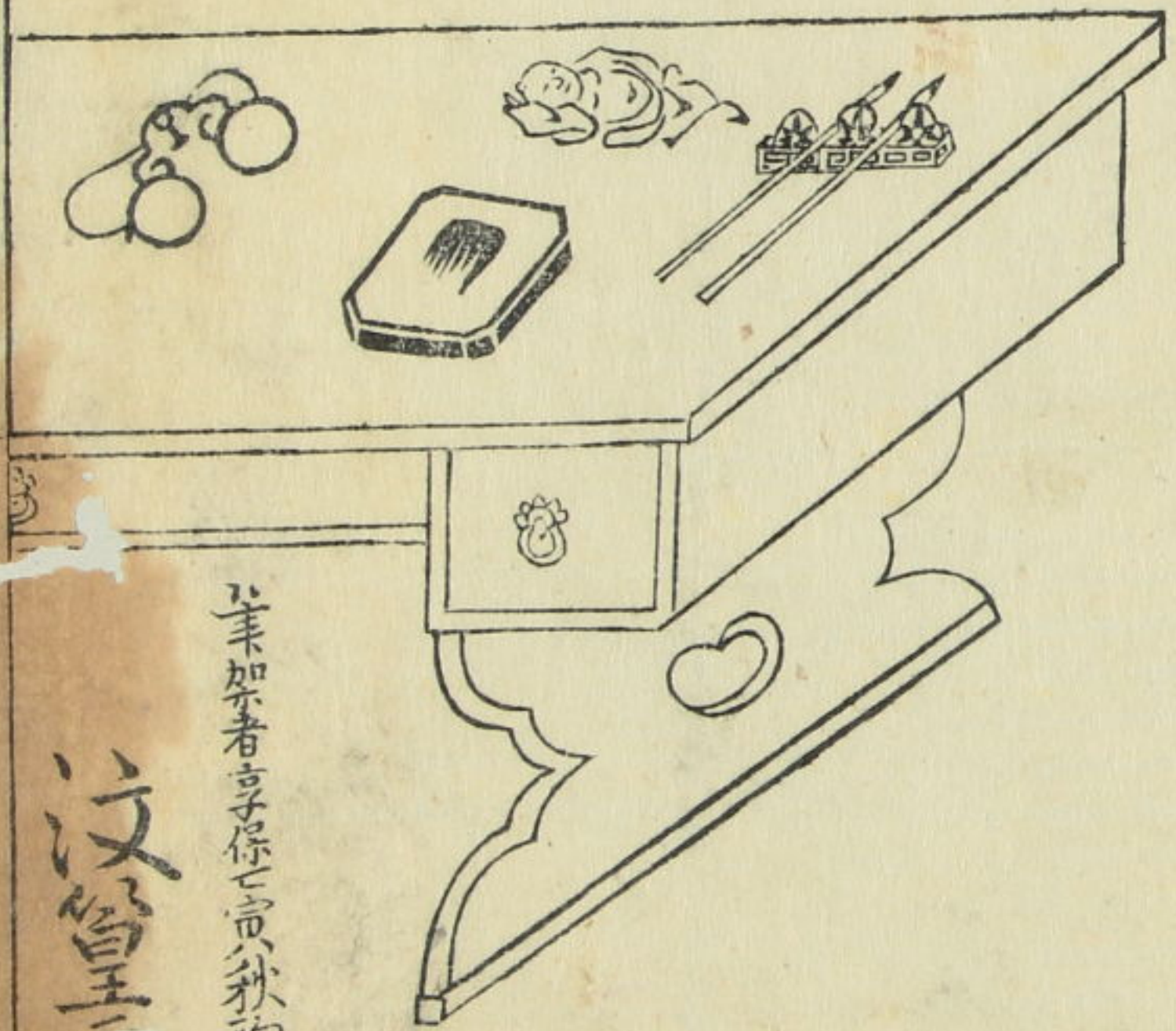
橋

南

居

活

魚尺



筆架者喜保七高秋陶

文筆



大 好 店
 可 謂
 冠 負 香 也
 不 乃 髮 の



侍野伊織藤原敬信筆の

題
 花 大
 廊

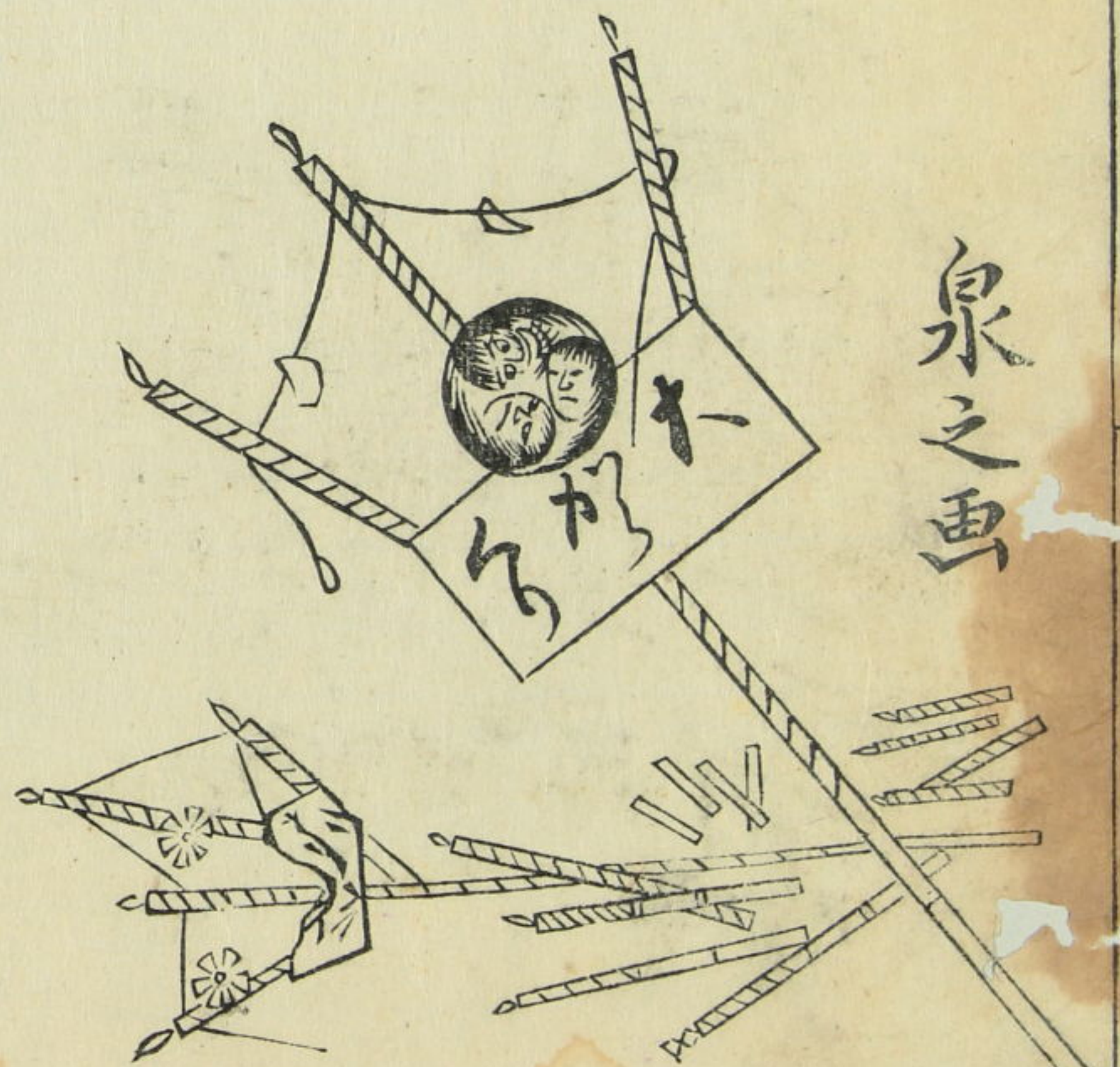
苦 々 喉

生 活 田 や

花 大 筒

鶏 鳴 堂

泉 序



泉 之 画

岩村氏

明治五
申年





岩村

素

素
岩村